

和地域づくりの会 会報

第10号

和地域づくりの会
事務局
和コミュニティセンター
東御市和 2628
TEL/FAX:62-0201

和地域づくりの会が 目指す 和地区の将来像

- ❖ 若者や子育てしている世代が幸せを感じられる地区
- ❖ 若者が定住し、結婚・出産・子育てがしやすいまちづくりを目指します
- ❖ 観光と農業・農村が共存共栄できる地区
- ❖ 農業や景観などの地域資源を活用したまちづくりを目指します
- ❖ 多様な世代が運営を支え、郷土愛を持つ地区
- ❖ 伝統行事、近所づきあい、支え合いが盛んなまちづくりを目指します

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、自身と大切な方の命と健康を守る為に「コロナに負けるな、責任ある行動を・三密を避けよう」を実践して参りました。その結果収束の兆しがみえてきたかと思われたところ新型変異株「オミクロン株」が世界に広がっておりますが、今までの教訓を生かしてなんとか感染拡大を防止しなければなりませんと思います。

自粛と制限を受ける中で活動ではありましたが、必要な対策をとり、こんな時だからこそ活動を進めてきました。

振り返ってみますと、平成二十八年十二月十日に設立総会が開催され「和地域づくりの会」がスタートし五年の歳月が経ちました。各種団体、区民が一体となった「和地区に住んで良かった」「こ



和地域づくりの会
会長 伊藤隆也 挨拶

東御市における地方創生について花岡市長から具体的にお話しを伺ったあと、市より、空き家に対する調査状況、今後の対応等の説明がありました。

その後、市に対する要望や苦情など、形式に捕らわれない建設的な意見交換が行われました。

初めての試みでしたが、市側との意見交換が良かったのではないかと思います。

地域づくり懇談会 開催

九月三十日に「地域づくり懇談会」が地域づくりの会役員、区長会三役が出席し、開催されました。

東御市における地方創生について花岡市長から具体的にお話しを伺ったあと、市より、空き家に対する調査状況、今後の対応等の説明がありました。

その後、市に対する要望や苦情など、形式に捕らわれない建設的な意見交換が行われました。

初めての試みでしたが、市側との意見交換が良かったのではないかと思います。



副部長 横山 榮二
(子育て教育文化部会)

七月二十一日の朝、和小学校玄関前に「おはようございます」という子供達の元気な声がグラウンドまで響き渡った。

地域づくりの会では、「地域の子供を地域で守り育てる」ための第一歩として、気楽に挨拶を交わすことのできる環境づくりのために「挨拶運動」を取り組んでいます。

あいさつ運動



地域づくりニュース

今年度も七月と九月の二回、地域振興部会を中心に、委員の皆様にご協力いただき、周辺の環境整備を行いました。

女性委員の皆さんには「フルのフェンスまで伸びた藤づるや植木に絡んだつる草を取り除いていただきました。

よく伸びた草も男性委員の皆様のお力によりみるみる綺麗に刈り取られました。両日ともに早朝よりの出発ありがとうございました。

副部長 田中 三千代
(地域振興部会)

旧和学校記念館草刈り



十月二十七日、和保育園のかわいい子供達が、それぞれ工夫して洋服や帽子を作り、ハロウインの仮装をしての来館でした。

どこからともなく「トリック・オア・トリート」の声も聞こえてきてこちらも「ハッピー・ハロウィン」と答へ、短い時間でしたが、癒される出来事でした。



会報第十号を発行することができました。

今期の活動も残り少なくなってきました。一年の活動の総括をしっかりとし、次年度に向けての準備をして参ります。

結びに皆様におかれましては余寒厳しき折、お体ご自愛下さい。

編集後記



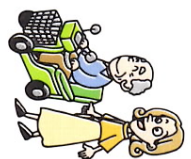
こういった機会に、「ハロウィン」というイベントはどのように行われるようになったのだろうか、またどうして仮装するのだろうか？など、各ご家庭で子供たちと一緒に話し合ってみるのはいかがでしょうか。



全国的に高齢者が運転する悲惨な交通事故が頻繁に発生している状況下で、この地域も狭隘市道に小中学校の通学路が併設しており、車の運転には充分と注意が必要です。

このため、運転免許を返納後の一つの選択肢として電動車イスがありま

セニアカー安全運転指導者講習会実施



当日は、ススキ安全運転推進本部の下條講師を招き、道路走行の基本ルール、横断歩道の横断方法、法令等をお聞きしてから車の構造を学んで発進と停止要領、クランクがある練習コースを安全に走行する方法などを学びました。この指導者講習会を通して電動車イスの安全走行を指導し見守り無事故の和地区でいたいと考えます。

参加者の中には運転免許を返納後の乗り物として大変便利で検討しても良いと話す方もおられました。



(和地区育成会長会・子育て教育文化部会)

一月四日(火)午前中、和コミュニティセンターにて子育て教育文化部会と和地区育成会長会主催による「和地区新春書き初め大会」を開催しました。当日は、事前に申し込みを済ませた和小学校3、6年生の児童二十七名が参加し、高橋孝宇先生の指導のもと、それぞれの課題に取り組みました。

今年度はコロナ禍ということもあり、新型コロナウイルスの感染予防を第一に考え、例年より参加人数を絞り、恒例のお餅ふるまいは中止し、書初め大会終了後に、参加者には「紅白もちすあま」を持ち帰りいただきました。

今年初めてのイベントでしたが、子供たちの元気な、そして一生懸命に書初めをする姿を見るにつけ、そろそろ私も正月気分を切り替え、心の書初めをしなければと反省する機会となりました。

和地区新春書き初め大会開催



通学路誘導指導

四月より毎週月曜日、子供達の登校時に通学路誘導指導を行っています。小学校下、東西に走る道路の大川消防庫前の横断歩道は三叉路であり、朝は通勤通学の車も多く注意が必要で

す。東から来た車にとっては見晴らしが悪く子供が突然歩道に現れるので特に減速してほしい箇所です。

子供が自ら安全を確認して手を挙げ、という自主性を大事にして、指導に当たっています。今後も継続して実施していく予定です。



(子育て教育文化部会) 副部会長 青山 寛子

電動車イス安全運転講習会開催

前回の指導者講習会を実施後、十一月二十日に高齢者等を対象に、安全運転講習会を開催しました。

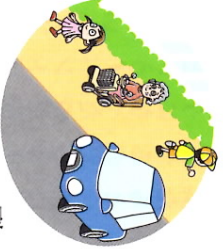
当日二十五名が参加され、始めに東御市交番の竹内所長から防犯、交通事故状況と特殊詐欺の講話をお聞きしました。

その後、下條講師からルールや法令等を説明され、駐車場内で安全走行の実技を行いました。



簡単な操作方法のため参加者は直ぐに上達して、S字やクランクなどスミーズに走行していました。

電動車イス購入はやや高額となりますが、和地区の坂道でも利用でき、近隣の移動手段として便利との話をされています。



(生活福祉部会) 副部会長 中村 至